令和7年度～令和11年度　社会福祉法人丹生学園　社会福祉充実計画

**１．基本的事項**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 法人名 | 社会福祉法人　丹生学園 | 法人番号 | 1170005003204 |
| 法人代表者氏名 | 理事長　松本　公望 |
| 法人の主たる所在地 | 和歌山県紀の川市下丹生谷１０１ |
| 連絡先 | 0736-73-5840 |
| 地域住民その他の関係者への意見聴取年月日 |  |
| 公認会計士、税理士等の意見聴取年月日 | 令和 7年 5 月 22 日 |
| 評議員会の承認年月日 | 令和 7年 6月　22日 |
| 会計年度別の社会福祉充実残額の推移（単位：千円） | 残額総額（令和6年度末現在） | １か年度目（令和7年度末現在） | ２か年度目（令和8年度末現在） | ３か年度目（令和9年度末現在） | ４か年度目（令和10年度末現在） | ５か年度目（令和11年度末現在） | 合計 | 社会福祉充実事業未充当額 |
| 103,780千円 | 95,780千円 | 79,780　　　千円 | 63,780　　　　千円 | 47,780　　　　千円 | 0　　　　千円　　　　 |  | 0千円 |
|  | うち社会福祉充実事業費（単位：千円） |  | ▲8,000　　　　千円 | ▲16,000　　　　千円 | ▲16,000　　　　千円 | ▲16,000　　　　千円 | ▲47,780　　　　千円 | ▲103,780　　　　千円 |  |
| 本計画の対象期間 | 令和7年7月1日～令和12年3月31日 |

**２．事業計画**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施時期 | 事業名 | 事業種別 | 既存・新規の別 | 事業概要 | 施設整備の有無 | 事業費 |
| １か年度目２か年度目 | 新規職員の雇入れ | 社会福祉事業 | 既存 | 処遇困難な児童の受入、人員不足の解消、安定した人員体制の構築の為職員2名の雇入れを行う。 | 無 | 8,000千円 |
| 小計 | 8,000千円 |
| 新規職員の雇入れ | 社会福祉事業 | 既存 | 処遇困難な児童の受入、人員不足の解消、安定した人員体制の構築の為職員2名の雇入れを行う。 | 無 | 8,000千円 |
| 継続雇用 | 社会福祉事業 | 既存 | 上記新規職員2名を継続雇用する。 | 無 | 8,000千円 |
| 小計 | 16,000千円 |
| ３か年度目 | 継続雇用 | 社会福祉事業 | 既存 | 上記新規職員4名を継続雇用する。 | 無 | 16,000千円 |
| 小計 | 16,000千円 |
| ４か年度目 | 継続雇用 | 社会福祉事業 | 既存 | 上記新規職員4名を継続雇用する。 | 無 | 16,000千円 |
| 小計 | 16,000千円 |
| ５か年度目 | 継続雇用 | 社会福祉事業 | 既存 | 上記新規職員4名を継続雇用する。 | 無 | 16,000千円 |
| 自家発電設備の購入・設置 | 社会福祉事業 | 既存 | 地震等の災害による停電の際、事業の継続を可能とするため、自家発電設備を購入・設置する。 | 有 | 48,000千円 |
| 小計 | 64,000千円 |
| 合計 | 120,000千円 |

**３．社会福祉充実残額の使途に関する検討結果**

|  |  |
| --- | --- |
| 検討順 | 検討結果 |
| ①　社会福祉事業及び公益事業（小規模事業） | 処遇困難な児童の受入、人員不足の解消、安定した人員体制の構築のために職員2名の雇入れを令和7・8年度で行う。その後、継続雇用を行う。また、地震等の災害による停電の際、事業の継続を可能とするため、自家発電設備を購入・設置する。電力を補うことが出来れば、倉庫に備蓄品も備えているため、一定数ではあるが、被災した近隣住民の一時避難所としての機能も果たす事が可能となる。 |
| ②　地域公益事業 | ①の取組を実施する結果、残額が生じないため、実施はしない。 |
| 1. ①及び②以外の公益事業
 | ①の取組を実施する結果、残額が生じないため、実施はしない。 |

**４．資金計画**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業名 | 事業費内訳 | １か年度目 | ２か年度目 | ３か年度目 | ４か年度目 | ５か年度目 | 合計 |
| 新規職員の雇入れ、継続雇用 | 計画の実施期間における事業費合計 | 8,000　千円 | 16,000　千円 | 16,000　千円 | 16,000　千円 | 16,000　千円 | 72,000千円 |
| 財源構成 | 社会福祉充実残額 | 8,000　千円 | 16,000　千円 | 16,000　千円 | 16,000　千円 | 16,000　千円 | 72,000千円 |
| 補助金 |  |  |  |  |  |  |
| 借入金 |  |  |  |  |  |  |
| 事業収益 |  |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業名 | 事業費内訳 | １か年度目 | ２か年度目 | ３か年度目 | ４か年度目 | ５か年度目 | 合計 |
| 自家発電設備の購入・設置 | 計画の実施期間における事業費合計 |  |  |  |  | 48,000千円 | 48,000千円 |
| 財源構成 | 社会福祉充実残額 |  |  |  |  | 31,780千円 | 31,780千円 |
| 補助金 |  |  |  |  |  |  |
| 借入金 |  |  |  |  |  |  |
| 事業収益 |  |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  | 16,220千円 | 16,220千円 |

**５．事業の詳細**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 新規職員の雇入れ、継続雇用 |
| 主な対象者 | 新規職員 |
| 想定される対象者数 | 4人 |
| 事業の実施地域 | 和歌山県紀の川市下丹生谷 |
| 事業の実施時期 | 令和7年4月1日～令和12年3月31日 |
| 事業内容 | 処遇困難な児童の受入、人員不足の解消、安定した人員体制の構築の為職員の雇入れ、継続雇用を行う。 |
| 事業の実施スケジュール | 1か年度目 | 新規職員2名の雇入れ。 |
| 2か年度目 | 新規職員2名の雇入れ。上記職員2名の継続雇用。 |
| 3か年度目 | 上記職員4名の継続雇用。 |
| 4か年度目 | 上記職員4名の継続雇用。 |
| 5か年度目 | 上記職員4名の継続雇用。 |
| 事業費積算（概算） | 職員1名分年間給与（年2回2か月分の賞与、法定福利費を含む）250,000×16回＝4,000,000職員2名5年間、職員2名4年間給与4,000,000×2名×5年＋4,000,000×2名×4年＝72,000,000 |
| 合計 | 72,000千円（うち社会福祉充実残額充当額72,000千円） |
| 地域協議会等の意見とその反映状況 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 自家発電設備の購入・設置 |
| 主な対象者 | 措置児童、近隣住民 |
| 想定される対象者数 | 36人 |
| 事業の実施地域 | 和歌山県紀の川市下丹生谷 |
| 事業の実施時期 | 令和11年4月1日～令和12年3月31日 |
| 事業内容 | 地震等の災害による停電の際、事業の継続を可能とするため、自家発電設備を購入・設置する。また、倉庫に備蓄品も備えているため、一定数ではあるが、被災した近隣住民の一時避難所としての機能も果たす。 |
| 事業の実施スケジュール | 1か年度目 |  |
| 2か年度目 |  |
| 3か年度目 |  |
| 4か年度目 |  |
| 5か年度目 | 自家発電設備の購入・設置 |
| 事業費積算（概算） | 発電機本体、工事費他　　　　　　　　　48,000,000 |
| 合計 | 48,000千円（うち社会福祉充実残額充当額31,780千円） |
| 地域協議会等の意見とその反映状況 |  |

**６．社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が５か年度を超える理由**

|  |
| --- |
|  |